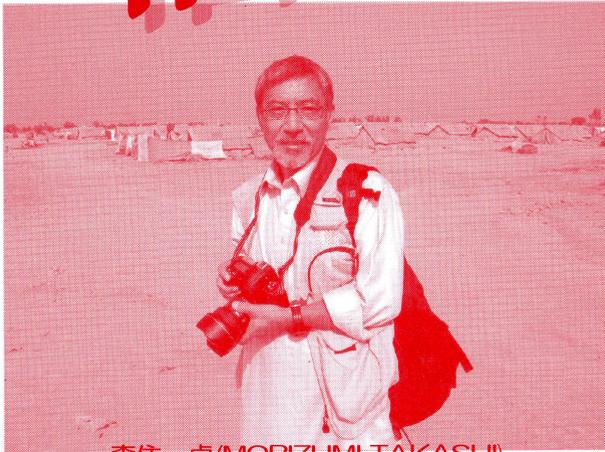


2012年総会記念講演

# 福島と世界の核汚染



森住 卓(MORIZUMI TAKASHI)

(フォトジャーナリスト 1951年、神奈川県生まれ。)

1994年 世界の核実験場の被曝者取材開始する

1999年「セミパラチンスク草原の民・核汚染の50年」(高文研)

週刊現代「フォト写真大賞」第5回平和協同ジャーナリスト基金奨励賞各々受賞

2002年「イラク - 湾岸戦争の子どもたち」(高文研)

同写真展が日本、アメリカ、イギリス、オーストラリア各国内で巡回中

2003年 2月 共著「イラクからの報告」(小学館)

6月 共著 写真絵本「私たちは いま、イラクにいます」(小学館)

8月 「核に蝕まれる地球」(岩波書店)

2005年 8月「イラク 占領と核汚染」(高文研)

2007年「20年目のチェルノブイリ」で写真公募展「視点」奨励賞受賞

2009年 1月「沖縄戦 集団自決を生きる」(高文研)

2009年 3月よりシリーズ「核汚染の地球」全3巻(新日本出版社)

3.11直後から福島第一原発の取材を開始。福島取材を続けている

2011年7月JVJA写真集「3.11 メルトダウン」(鎧風社)

2011年11月「新版セミパラチンスク 草原の民 核の爪痕」(高文研)

2011年12月「福島第一原発 風下の村」(扶桑社)

1994年に世界の核実験場の被曝者取材を始めて18年。旧ソ連の核実験場・セミパラチンスク村の被曝者、湾岸戦争でのイラクの子供たちへの劣化ウランによる被曝の告発等世界を舞台にした取材を続けている森住さん。

2011年3月11日の東日本大震災と福島第一原発事故では直後から現地に駆けつけ取材を開始、今も福島を追い続けています。

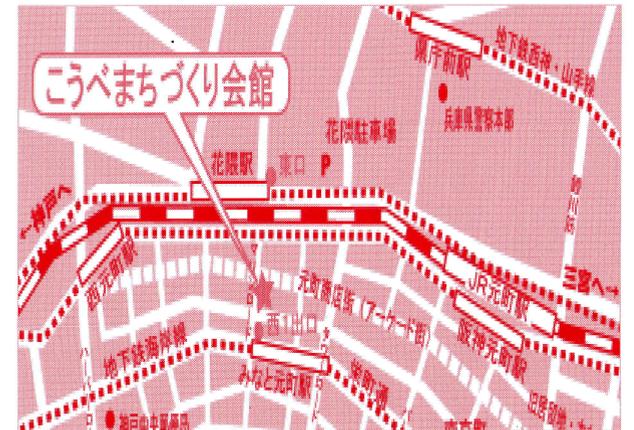
福島のとと26年目のチェルノブイリ、セミパラチンスクの現状から世界の核汚染をどうとらえるべきなのか。

日本のエネルギー政策と原発ゼロの日本を実現するためには日米安保のくびきからぬけ出さねばならないことを熱く語っていただきます。

お話 森住 卓さん

日時 12年6月23日15:00~

会場 こうべまちづくり会館



【どなたでも参加できます。資料代 1,000円】

高速=「花隈駅」東口から南に3分「西元町駅」東口から東へ5分  
JR・阪神「元町駅」西口から西に8分 会館のTEL 078-361-4523

【講演終了後に元町商店街をJR元町駅に向けてパレードをします】

安保破棄兵庫県実行委員会 TEL078-371-2360